

コミュニケーション

No. 82 (令和6-12)
発行: 磐清水自治協議会
事務所: 磐清水市民センター内
令和7年3月24日

学びの地域づくり事業「能登半島地震に学ぶ」

磐清水自治協議会では3月16日(日)午後1時30分から、今年度の「学びの地域づくり事業」として「能登半島地震に学ぶ」を21人の参加を頂きました。

社会教育士の熊谷ゆう子さんを講師にお招きし、いまだ復興とは言えない状況にある能登の現状について、実際に現地に足を運んだ方の目線でお話を頂きました。

熊谷さんは昨年11月に輪島市の地震と豪雨に見舞われた地域で活動されました。2泊3日の活動の中で、土囊に泥を詰めトラックで運ぶ作業に参加したり、解体予定の蔵から大量の輪島塗の御膳を何組も運び出す作業を行ったそうです。その中で感じた事は「ボランティア活動には限界があり、今後は専門の職人や業者が入らなければならないという現状。これからますます過疎が進む地域のコミュニティをどうやって再生すればよいのか、何を残して何を残さないのか、災害前の街並みに戻すのが復興となるのか。」という事だったそうです。「災害と災害の間《災間》で生きていく私達のコミュニティにとって持続可能な復興とは何か、30年後、100年後ここに生きる人達にどんなコミュニティを作りたいかを、今からみんなで話し合うことが大切ではないでしょうか。」と講演を締めくくりました。



寺沢地区 合同総会



3月2日(日)、寺沢自治会、寺沢営農組合の合同総会を磐清水文化センターで行いました。

総会には市長代理として菅原恵美千厩支所長が来賓として出席され祝辞を述べされました。

44人が参加し行われた各総会では、事業報告や決算、新年度の事業計画、予算、会費の額などの議案が協議され、それぞれ提案どおりに決定されました。

また、寺沢自治会の役員の改選も行われ

自治会長 千葉喜章さん
自治会副会長 菅原拓雄さん
〃 菅原 稔さん
〃 佐藤 真一さん

が、それぞれ選出されました。

寺沢地区 資源回収

寺沢自治会では、3月9日(日)8時30分から今年最初の資源回収を行いました。

新しく地区役員になった方の参加も含め12人でトラックへの積み込み作業をしました。



梅の里村、梅干し 大好評！

磐清水梅の里村では、3月1日(土)、2日(日)の2日間開催された「おひなマルシェ」に参加しました。

昨年、手塩にかけた梅干しの販売を行いました。



千厩酒のくら交流施設の東蔵で行われたマルシェは天気が良かったこともあり、両日とも盛況で、梅干しも完売したとのことでした。

濁沼地区で合同総会

2月23日(日)、濁沼自治会、濁沼営農組合、菅秀才史跡周辺保存会の三団体合同総会が集落センターにごりぬま会館で開催されました。

総会には市長代理として菅原由幸千厩支所次長兼地域振興課長が来賓として出席され祝辞を述べられました。

各団体では事業報告や決算、新年度事業計画、予算、会費の額などの議案が協議され、それぞれ提案どおりに決定されました。

また、濁沼自治会の役員の改選も行われ

自治会長 小野寺敏男さん
自治会副会長 菊地正衡さん
〃 千葉真一さん

が、それぞれ選出されました。



仮坂長生会 惜しくも敗れる！



仮坂地区 ふれあいサロン

仮坂地区では、3月14日(金)にふれあいサロンを開催しました。

当日の参加者は5人といつもの半分でした。おやつは桜餅など、いつもよりちょっと多めです。それを頂きながら、「今年の冬はヒートショックにならないように脱衣所にヒーターをおいた」とか、「冬でも水分を多めにとるように心掛けている」などの話がたりや、輪投げとゲームをして大笑い。最後は、「千厩音頭健康体操」を行ないました。

梅の里村、今年も始動 剪定作業行なう

磐清水梅の里村では、3月6日(木)に今年の梅の剪定作業を行いました。12人が安楽寺下の梅林に集まり、昨年の収穫後に伸びた枝を、つぼみの付き具合などを確認しながら剪定しました。

当日は施肥も行われ、あとは着果を待ちます。今年も梅の作業が始まります。



市民センターの梅のつぼみ、膨らむ

ここ数日の暖かさで、市民センターの梅のつぼみも、だいぶ膨らんできました。三寒四温を繰り返して春になるとは言いますが、ここ数年の気温の異常さには驚くばかりです。

とはいえ、春の訪れを確実に感じるこの頃ですね。

市民センター内でも来年度に向け、様々な事業を計画中です。その都度お知らせしますので、たくさんの方々の参加をお待ちしております。(和)

